



## 挨拶

会長 有賀 祐勝

日本海藻協会は、日本の海藻業界の発展を推進すると共に会員相互の情報交流と親睦を図ることを目的としています。1999年2月に国際海藻協会日本支部を母体として発足し、この目的に賛同する通常会員（団体または個人）と特別会員（学術研究者、学識経験者、または本協会に貢献する個人）を構成員として、会長、事務局長、幹事、監事で構成する運営委員会を中心に活動してきました。しかし、発足以来8年を経過する間に種々の問題点が浮かび上がりました。それらを解消するため2007年に抜本的な組織改革を行い、2008年1月からは会員の中から15名の理事を選出し、理事会を中心として活動する新体制に移行しました。

主な活動は、講演会・シンポジウム・講習会等の開催、国内外で開催される学会・シンポジウム・講演会等の助成です。会報「海藻資源」の発行はすでに18号を数えており、応用海藻学分野の研究成果と海藻産業界の発展に貢献するような貴重な情報と資料を掲載しています。また、毎年「秋季藻類シンポジウム」を開催し、一般市民を含む大勢の方々に参加いただいています。これらに加え、2008年4月からは電子ニュース「e news SEaweeds」を毎月1回発行し、協会からのお知らせ、海藻関連イベント情報、その他の情報を会員宛に送信しています。また、毎年1回開催される「親睦交流会」は、会員会社の施設の見学を始め各地の海藻関連施設の訪問などを通じて、会員相互の理解と友情を深める有意義で楽しい機会ともなっています。このような多様な活動を通して日本の海藻産業の発展に微力ながら貢献できればと願っています。

日本海藻協会の会員は、協会の目的に賛同する団体または個人で、正会員（年会費 30,000 円）または準会員（年会費 10,000 円）のいずれかです。応用海藻学あるいは海藻産業に関心をお持ちの方々の入会を大いに期待しています。